

H-091 気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の政策決定に関する研究
(H21～H23)

<研究課題代表者>

独立行政法人国立環境研究所 地球環境研究センター 主任研究員 亀山 康子

<研究参画者の所属機関>

東京大学、北海道大学、東京工業大学、兵庫県立大学、龍谷大学、早稲田大学、上智大学、西南学院大学、財団法人地球環境戦略研究機関

<研究の概要（背景、目的、内容）>

2009 年末の第 15 回気候変動枠組条約締約国会議（COP15）での合意達成に向けて、京都議定書第一約束期間以降の国際枠組みに関する国際交渉が進行中である。本研究では、今交渉にて合意が得られる国際枠組みの検討、及び、合意達成後の残された課題の洗い出し及び先駆的取組みを目標に、交渉に影響を及ぼす主要国（米国、欧州、中国・インド、ロシア）の態度決定要因としての国内情勢に関する比較分析を実施する。各国内において国の態度に影響を及ぼす政治経済的情勢やエネルギー政策・技術、排出枠取引制度に対する対応、および森林吸収源政策を調査し、その結果を踏まえてこれらの主要国が実効性を持つ合意に達するための必要条件を導き出す。また、合意達成後は、合意内容が各国内情勢に及ぼす影響を分析し、国際制度が環境保全性を持ちつつ効率的かつ効果的に実施されるために必要な補足的検討事項を提示し、国際的取組みの道筋を示す。

<研究終了時の達成目標>

- ・COP15における国際合意に至る過程において、次期枠組み交渉の最終局面における主要国の形成過程における国内要因の影響を解明する。また、その分析結果をふまえて我が国の交渉を支援する。
- ・合意達成後の確実な国際的取組みの実施において、主要国が合意内容を実施する上で重要な課題を提示する。また、これらの課題を解決するための補足的な国際交渉の方向性を示す。
- ・国際合意が実効性を伴うために、その後の交渉のあるべき方向性を示す。
- ・主要国の国内の気候変動交渉に関する政策決定を比較し、比較政治学としての新たな知見を提示する。

<平成21年度計画（38,285千円）>

- ・次期枠組みに関する国際交渉の最終局面における主要国の国内動向の調査。
- ・国内動向が、その国の気候変動交渉に及ぼす影響の分析。
- ・国際交渉過程の整理。主要国のサブミッションの整理・分析。その国にとっての交渉の内容の重要度および優先順位の決定。
- ・国際交渉における主要国のポジションが国際交渉過程に及ぼす影響の分析。
- ・国際合意が可能なスコープの提示。

<平成22年度計画>

- ・国際合意の内容が主要国の国内動向に及ぼす影響の調査。その国が合意内容を受け入れるための必要条件の整理。
- ・主要国の国内において実効性が担保されるために補足的に必要な国際交渉の要素の洗い出し。
- ・国際合意が気候保全に向けて実効性を持つために必要となる詳細ルール等フォローアップすべき項目の提示。
- ・炭素市場や森林保全など、国家横断的に取り組まれる諸制度の進め方に関する検討。

<平成23年度計画>

- ・次期枠組みのフォローアップ交渉における課題に関する合意のあり方の検討。
- ・次期枠組みのフォローアップ交渉における主要国の国内動向の調査。
- ・炭素市場や森林保全など、次期枠組みにおける国家横断的な諸制度のあり方の提示。
- ・次期枠組みのフォローアップ交渉における我が国のポジションのあり方の検討。

<国外の協力・連携機関、研究計画名>

特になし

研究参画者一覧（平成21年度）

研究課題名	H-091 気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の政策決定に関する研究
＜研究体制・組織＞	
研究代表者 亀山 康子	独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員 (41才)
◎ (1) 総括班：主要国の政策決定の比較分析 亀山 康子 久保田 泉	独立行政法人国立環境研究所地球環境研究センター主任研究員 独立行政法人国立環境研究所社会環境システム研究領域研究員
○ (2) 総括班：気候変動政策の国際法的検討 高村 ゆかり	龍谷大学法学部教授
○ (3) 米国：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 久保 文明	東京大学法学部教授
○ (4) 米国：エネルギー技術開発・投資が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 有村 俊彦	上智大学経済学部准教授
○ (5) 欧州・米国：国内排出枠取引制度が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 新澤 秀則	兵庫県立大学経済学部教授
○ (6) 欧州：域内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 蟹江 憲史	東京工業大学大学院社会理工学研究科准教授
○ (7) アジア新興国：国内政治および政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 田村 堅太郎 エリック・サースマン ブラバカル・シク・プラム マリコワ・D・ムリネス 福田幸司	(財)地球環境戦略研究機関気候政策プロジェクト サブマネージャー (財)地球環境戦略研究機関気候政策プロジェクト 研究員 (財)地球環境戦略研究機関気候政策プロジェクト 研究員 (財)地球環境戦略研究機関気候政策プロジェクト 研究員 (財)地球環境戦略研究機関気候政策プロジェクト 研究員
○ (8) ロシア：国内政治が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 上垣 彰	西南学院大学経済学部教授
○ (9) ロシア：エネルギー政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 田畑 伸一郎	北海道大学スラブ研究センター教授
○ (10) 主要国：森林政策が気候変動政策に及ぼす影響に関する研究 天野 正博	早稲田大学人間科学学術院教授

H-091 気候変動の国際枠組み交渉に対する主要国の政策決定に関する研究

